

校訓
自主 向学 敬愛

高江中

薩摩川内市立高江中学校
〒895-0131 薩摩川内市
高江町654番地1
Tel 0996-27-2003
Fax 0996-27-2065
平成26年12月号

ゆく年、来る年

平成二十六年も、残すところ僅かとなってまいりました。

本校の今年も、校区の皆様を支えられ、これまで順調に様々な行事を始めとする学校教育活動を実施することができました。職員一同、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

今年、三月に四名の卒業生を送り出し、四月には十名の新入生を迎え、全校生徒数が十四名から二十名へと一挙に増え、生徒も職員も昨年より活気に満ちた学校生活を送ることができました。その一方で、徳留教諭(数学)、古田教諭(保健体育・技術)、遠矢養護教諭といった、長年本校の教育に誠心誠意勤めてきた職員との別れがあり、新たに、上久保教諭(数学)、藤山教諭(保健体育・技術)、軯養護教諭を迎え、昨年にも負けぬほどのチームワークで順調に高江丸は航海を続けています。また、昨年途中で出産

のため春畑先生(英語)に代わった中辻教諭(英語)に続き、今年も事務職員として迎えることができました。「校区を故郷と思

い、学校を我が家と思、児童・生徒を我が子と思、教育に精進するように」との上屋教育長のお言葉を借りますと、家族がたくさん増えた一年でした。

生徒たちも大いに頑張った年で、スポーツ面では、小規模校ゆえの単一部活動という状況の中、部活動の練習だけでなく、毎日の校庭二十周走や毎月の三キロロードレースなどを真面目に精一杯取り組み、部活動の諸大会や地区駅伝競走大会において、男女ともに昨年以上の優秀な成績を残すことができました。

な生活習慣の確立です。このことの延長線上には、「自ら課題を設定し、自らその課題解決のための方策を講じ、自ら計画的にそれに向けてこつこつと努力できる高江中生徒の育成」があります。

このことは、誰にとつても一日が二十四時間であるように、人間の天命には限りがあり、その限られた時間で人生を有意義に過ごしてほしいという願いからです。

「光陰矢の如し。一寸の光陰軽んずべからず。」「少年老いやすく、学成りがたし。」私が少年のころ、時間を無意味に過ごす私に対して祖母がよく言ってくれた言葉です。しかし、若かった私にはこの言葉の意味が本当には理解できませんでした。来年の十二月に私は六十歳を迎えます。今、私は祖母の言葉が痛切に理解できます。できると同時に、若い人たちにこの言葉を「意味」として頭に理解させることは所詮無理なのか、理解するためには、「時間」

という条件が揃わないからです。だったら、「意味」としてではなく、「習慣」として身体に植え付けてやるのが先達の責務ではないかと考えます。

ある人は、「人生の経験で、無駄なもの一つもない。」と言います。しかし、時間を無駄にする、その経験さえできなくなります。

「原子力防災」
「フシ避難訓練実施！」
去る十一月十三日(木)朝読書の途中で、生徒には事前知らせぬ(抜き打ち)形で原子力防災避難訓練を実施しました。「いざ!」というときの行動や保護者への引き渡しの流れ、また鹿児島市の避難先について等、

再確認できました。まず校内のどこに集まるのか、その後の行動はどうするのか、避難先はどこなのか等、年度始めに全体指導を行っていたにも関わらず、残念ながらほとんどの生徒が覚えていませんでした。実施してみても次のような課題も見えてきましたので、ひとつひとつ確認をし、改善していきたいと思えます。

引き渡しカードについては、PTAの際に確認いたしました。引き受け人の可能性のある全ての方を明記してもらうことにしました。



えに到着するから特に問題はない」との市の回答ももらいました。今回の抜き打ち訓練は、生徒だけでなく我々職員も動きも含めて、多くのことを確認することができ、非常に価値のある訓練となりました。

十二月十一日(木)に、上久保教諭が峰山小の牧野教諭と、一年生にティームティーチングで数学の授業を行いました。立体の表面積を求める授業で、小学校でやった展開図を想起させる場面で牧野教諭が登場。当時を思い出しながら生徒も楽しそうに学習していました。



修学旅行随記

12月8日～10日まで2年生5名の修学旅行(2泊3日)に私教頭(勝田)が随行しましたので、その模様を報告をします。

【初日】

※万歩計計測-15116歩

早朝6時40分川内駅集合。出発式で「大いに学び、大いに遊び、思い出に残る旅行にしよう」と話をし、7時16分発の新幹線さくらに乗りいざ出発。生徒5人は眠気と緊張と嬉しさが混在しているのか何だか複雑な面持ち。途中、熊本の津奈木中の生徒が大勢乗り込んできた(他校でも12月の修学旅行があると知り親近感が沸いた)。あっという間に新山口駅着。車外に出るとさすがに寒い。改札出口でバスガイドさんがお出迎え。早速貸切バスに乗り込み、まずは秋芳洞へ。洞窟の中は外よりも暖かかった。所々専属ガイドさんに説明をもらい、その規模の大きさや鍾乳石等の神秘的な美しさに圧倒された。秋吉台の展望所にも立ち寄り、次に向かうは萩市。空は雨模様。昼食後、萩博物館へ。そこで事前学習をした後、吉田松陰や高杉晋作等幕末の著名人に関する場所を幾つか巡った。倒幕と開国のきっかけを作った長州の偉人たちの生き様を学び、この方々の先見の目と堅い志があったからこそ今の我が国が存在するのだと感じた。改めて尊敬した。バスガイドさんからは、逸話を沢山話してもらい大変ためになった。夕食の中華料理はとてもおいしく、全員食が進んだ。初め生徒は、回転する中華テーブルに戸惑ったようだったが、その扱いもすっかり慣れた。実はこの日は有馬君の誕生日。本人には内緒にしていた誕生日ケーキの登場とプレゼント渡しのサプライズで盛り上がった。



【中日】

※20001歩

朝6時30分朝食会場。男子がまだ来ない。担任が呼びに…。結局、集合時刻に遅刻。朝食前に厳重指導。朝食バイキングでお腹を満たし7時45分発の新幹線で広島へ。在来線に乗り換え、フェリーにて宮島へ。昼食会場のみやげもの屋「鳥居屋」のガイドさんが島内を案内してくれた。生徒は、あちこちに普通にいる野生の鹿や泳いでいる魚が気になって気になって…。満潮で海上に浮かぶ朱色の鳥居は、とても綺麗だった。厳島神社では全員で来年の合格祈願をした(二礼二拍手一礼も随分様になった)。宮島口フェリーターミナルで、安田女子大学の皆さんと合流。学生との対面式の後、その場で観光で訪れていたオーストラリア人3名と英会話での交流が始まった。その後、市電(切符を買う体験もした)にて原爆ドーム、平和記念資料館へ移動。車中は、しばし学生との触れ合いタイム。お互いに質問しあい会話が弾んだ。平和記念公園で平和祈念集会を行い、千羽鶴の奉納と平和への宣誓をした。学生と一緒に資料館内の見学では原爆投下後の惨状を目の当たりにした。被爆体験証言者の森田さんの講話では、被爆後の壮絶な半生を聴き、原爆の恐ろしさと平和の大切さを真剣に考えた。



講話後、半日一緒に過ごした学生とのお別れ式。生徒と年齢の近い学生との交流活動は、生徒たちのコミュニケーション力を培う有意義な経験になったと感じた。夕食は広島の名物「お好み焼き」を食べることができ、満足だった。

【最終日】

※10544歩

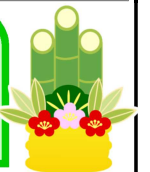
朝、8時38分の新幹線で、小倉へ。快速に乗り換え、スペースワールド駅着。まずは、いのちの旅博物館見学へ。1時間程度、生物のいのちの歴史等について学んだ。実物大の巨大な恐竜(骨格のみ)の大きさには驚いた。次は、いよいよ待ちに待ったスペースワールド。疲れの見える生徒の足取りも幾分軽やかに思えた。ほぼ貸切状態で、待ち時間なしで色々な乗り物に乗ることができた。それぞれがお目当てのアトラクションに乗り、満喫した様子。びしょびしょに濡れたり、あまりの怖さに号泣したり…。生徒らに楽しそうな笑顔がはじけた。見ているこちらも嬉しくなった。14時22分に出発、博多駅で乗り換え、新幹線で川内駅へ。16時52分着。改札を出ると、出迎えのお母さん方の顔が見えた。雨の中、駅1階で校長先生との解散式。校長先生も5人の満足げな表情を見て、「ホッとされていた。充実した修学旅行になって本当に良かったね」と話され、2泊3日の旅行は完結となった。全員元気で無事に帰ってこれた。何よりだった。



◆保護者の皆様へ

旅行先の至る所で見学態度をほめられました。また、旅行中体調を崩したり、怪我をしたりすることもなく、健康管理もしっかりでき、大変立派でした。費用の面では御苦労をおかけしましたが、お陰様で大変価値のある充実した旅行になりました。御協力誠に有り難うございました。

12月26日(金)は、10:00～PTA・生徒・職員の合同で10:00～迎春準備を行います。一人でも多くの保護者の方の御協力を御願いたします!



～親子で考えましょう!～

- ◆世界エイズデー(12/1) 正しい理解を!
- ◆人権週間(12/4～12/10) 差別はNo!
- ◆年末年始交通事故防止運動(12/10～1/10)

1月 主な行事予定

日	曜	学校行事等
7	水	中小連携合同研修会(高江中)
8	木	始業式、大掃除、薩摩川内いじめのない学校づくりの日、SSW(尾堂先生)来校
9	金	3年実力テスト、SL来校
14	水	鹿児島学習定着度調査(～15)※1,2年実施
16	金	3kmロードレース(1,2年)
17	土	第8回県ジュニア夢プラン卓球大会
28	水	SC(中川先生)来校
29	木	第6回校区小中一貫教育研究会(峰山小)